



2022年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SUBARU

代表取締役社長 CEO 中村 知美

2021年11月5日

皆さん、こんにちは。SUBARUの中村でございます。

本日はお忙しい中、

株式会社SUBARU 2022年3月期 第2四半期決算説明会にご参加頂き、
誠にありがとうございます。

また、平素は当社の事業活動に対し、多大なるご理解・ご支援を賜り、
重ねて御礼申し上げます。

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
連結販売台数(千台)	363	375	+12
生産台数(千台)	354	342	-12
売上収益	12,184	13,417	+1,233
営業利益	306	545	+238
親会社の所有者に帰属する 当期利益	237	448	+211
為替レート US\$	¥107	¥110	+¥3
EURO	¥120	¥131	+¥10
CAN\$	¥79	¥88	+¥10

はじめに、第2四半期の決算はご覧の通りの結果となりました。
詳細につきましては、後ほどCFOの水間よりご説明いたしますが、

連結販売台数は、前年同期比1万2千台増の37万5千台、
売上収益は前年同期比で1,233億円増の1兆3,417億円となりました。
その結果、営業利益は前年同期比238億円増加して545億円、
親会社の所有者に帰属する当期利益は前年同期比211億円増加して448億円となりました。

一方で、各種実績は、前年同期を上回ったものの、
8月の第1四半期決算説明では、半導体供給不足に起因した生産影響については
4月から6月の3か月間で6万台と申し上げましたが、
7月以降も日米工場の生産調整は継続し、また9月には半導体供給課題に加え、
東南アジアでの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、
部品供給が大幅に滞りました。
結果、群馬製作所の操業を12日間停止するなど、厳しい状況が継続したため、
第2四半期決算としては当初想定していた以上の影響を受ける結果となりました。

米国の販売状況

■リテラー在庫/バックオーダー

- ・リテラー在庫：

4日商レベル※

- ・バックオーダー：

3.5万台レベル※



売約済み車両の並ぶ店頭



車両のない新車展示場

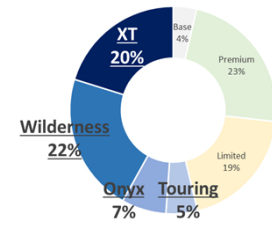
■ Outback モデルミックス

- ・上位グレード (Wilderness / XT / Onyx / Touring) 構成比：

50%レベル※



Outback Wilderness



Outback モデルミックス

※10月末時点

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

3

生産は厳しい状況ではありましたが、一方で北米、国内やその他海外の各マーケットにおいては非常に強い需要を感じています。

特に当社の主要市場である米国では、Outback、Crosstrek、Forester等、強い販売モメンタムを継続しています

上の写真の通り、店頭にある車両はほぼ売約済み、現地のリテラー在庫は4日商と、かつてないレベルで推移しており、リテラーに到着する前のパイプライン在庫を販売しているような状況です。車両をご注文いただき、お待ちいただいているお客様の数を表すバックオーダー数は、過去最多の3万5千台レベルまで積みあがっております。

米国のみならず、各国にてご注文いただいているお客様に対しては、お時間をいただいております、大変申し訳なく思っておりますが、リテラー、特約店、そして我々メーカーが一体となり、かつてない高効率のオペレーションを推進し、1日でも早くお届けできるよう尽力してまいります。

下の写真にありますのは、今年の3月に発表いたしましたOutback・Wildernessです。非常に人気を博しており、同じく上位グレードである、XTやOnyxなどと合わせて、Outback構成比の約半分を占めており、今後の当社の収益を支える車種として非常に期待しています。

いずれにしてもこの上期は、現地に車両さえ供給できていれば、さらに多くの販売を実現できたと、大変悔しい思いでおりますが、今後生産が回復した際には、更なる販売増、収益拡大に繋げていける素地は十分に整っていると感じております。

2022年3月期 通期計画

(億円)

	2021年3月期 通期実績(a)	2022年3月期 前回*計画(b)	2022年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
連結販売台数 (千台)	860	960	830	-30	-130
生産台数 (千台)	810	990	860	+50	-130
売上収益	28,302	33,000	29,000	+698	-4,000
営業利益	1,025	2,000	1,500	+475	-500
親会社の所有者に帰属する 当期利益	765	1,400	1,100	+335	-300
為替レート US\$	¥106	¥109	¥110	+¥4	+¥1
EURO	¥123	¥130	¥130	+¥7	+¥0
CAN\$	¥80	¥88	¥88	+¥8	-¥0

* 2021/8/3 発表値

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

4

最後に通期計画です。

コロナウイルス感染症拡大及び半導体供給不足による生産制約の影響は想定以上に大きく、今期の挽回期間も限られる中、第1四半期決算時の計画に比べ、売上収益は4,000億円減の2兆9,000億円、営業利益は500億円減の1,500億円に修正しました。

厳しい状況は続いておりますが、一方で各種費用の見直しや保証修理費削減、販売インセンティブ抑制等の各種取り組みを推進するとともに、低在庫下での在庫オペレーションなど、コロナ禍での学びもあったと考えています。

コロナ禍での学びを活かし、活動の手を緩めることなく継続することで、より筋肉質な体質への変革をめざしていきたいと考えています

コロナウイルス感染症拡大については、依然予断を許さない状況が続いています。また半導体供給についても不透明な状況が続いておりますが、通期計画の達成に向け、全社一丸となって、取り組んで参ります。

これからもご支援のほど、よろしくお願い致します。



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。



| 2022年3月期 第2四半期決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員 CFO 水間 克之

2021年11月5日

2022年3月期 第2四半期累計 実績

第2四半期累計実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
連結完成車販売台数 合計	363	375	+12
	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
米国生産	133	124	-9
国内生産	221	218	-3
生産台数* 合計	354	342	-12

*トヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

それでは、2022年3月期 第2四半期累計実績からご説明いたします。

初めに連結販売台数および生産台数についてです。

中村からも説明がありました通り、

引き続き、重点市場である米国を中心にお客様からの需要は堅調に推移しております。

一方、年初来の世界的な半導体供給不足に加え、

8月下旬以降の東南アジアでの新型コロナウイルス感染症の拡大に起因した

部品の供給制約に伴い、

国内および米国生産拠点において、一時操業停止や生産量の調整を行いました。

その結果、

生産台数は、前年同期に対し1万2千台の減となる34万2千台となり、

連結販売台数は、前年同期に対し1万2千台の増となる37万5千台となりました。

第2四半期累計実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
登録車	33	35	+3
軽自動車	10	9	-1
国内合計	43	44	+2
米国	261	253	-8
カナダ	23	29	+6
ロシア	1	2	+1
欧州	6	7	+2
豪州	11	17	+6
中国	13	9	-5
その他	6	13	+7
海外合計	321	331	+10
合計	363	375	+12

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

9

次に、市場別連結販売台数実績についてです。

前年度新型コロナウイルス感染拡大からの市場回復が早かった米国・中国市場では、前年に対し販売台数が減少しましたが、米国・中国を除く海外市場および国内市場では、増加いたしました。その結果、連結販売台数の合計としては、前年同期に対し増加となりました。

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
売上収益	12,184	13,417	+1,233
国内	2,102	2,179	+77
海外	10,082	11,237	+1,156
営業利益	306	545	+238
税引前利益	361	612	+251
親会社の所有者に帰属する 当期利益	237	448	+211
為替レート US\$	¥107	¥110	+¥3
EURO	¥120	¥131	+¥10
CAN\$	¥79	¥88	+¥10

続いて、連結業績です。

売上収益は、販売台数増による売上構成差+1,000億円、
為替レート差+376億円などにより、
前年同期比1,233億円の増収となる1兆3,417億円となりました。

営業利益は、
前年同期比238億円の増益となる 545億円となりました。

また、税引前利益は251億円の増益となる 612億円、
親会社の所有者に帰属する当期利益は211億円の増益となる 448億円となりました。



売上構成差	+534	為替影響	+66	原価低減等	-257	諸経費	-98
新車国内	+18 US \$	+104 SUBARU	-177 SIA *1	-80 製造固定費	-83 販管費	-155 保証修理費	+140
新車海外	+132 EURO	+9 原価低減	+30 原価低減	+12 SUBARU	-90 SIA *1	+7 SUBARU	-84
販売奨励金	+117 CAN \$	+44 原材料・市況等	-207 原材料・市況等	-92 外製型費	-31 外製型費	+21 国内ディーラー	-11
その他	+267 中国元	+2		固定加工費	-59 固定加工費	-14 SOA *2	-58
	仕入為替調整	+14				SCI *3	-11
	未実現利益分	-107				その他	+9

*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. *2 SOA: Subaru of America Inc. *3 SCI: Subaru Canada Inc.

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

貴金属等の原材料価格の高騰や

販売台数増に伴う費用増などが減益要因となったものの、国内および海外向け新車販売台数が増加したことを主因とし、前年同期に対し238億円の増益となりました。

尚、為替レート差はUSDドルで約3円、Euro、CANDドルそれぞれで約10円の円安となりました。

米国市場向け販売奨励金については、

前年同期の台当たり1,400ドルに対し500ドル減となる900ドルとなり、奨励金総額としては118億円の削減となりました。

キャッシュフロー / 手元資金状況

(億円)

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	
営業活動によるCF	684	638	
投資活動によるCF	-862	-819	
フリーCF	-178	-182	
財務活動によるCF	581	-475	
	2021年3月末	2021年9月末	増減
現金及び現金同等物 期末残高	9,073	8,484	-590
有利子負債 期末残高 *	3,339	3,351	+12
ネットキャッシュ	5,734	5,133	-601

*リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

次にキャッシュフローおよび手元資金の状況です。

フリーキャッシュフローは-182億円となりました。

現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に対し590億円減の8,484億円、有利子負債残高は、前期末に対し12億円増の3,351億円となりました。

その結果、ネットキャッシュは前期末に対し601億円減の5,133億円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
設備投資 *1	334	382	+48
減価償却費 *1	471	460	-11
研究開発支出 *2	506	616	+110

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

2022年3月期 見通し

通期計画 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2021年3月期 通期実績(a)	2022年3月期 前回計画(b)	2022年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
連結完成車販売台数 合計	860	960	830	-30	-130

	2021年3月期 通期実績(a)	2022年3月期 前回計画(b)	2022年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
米国生産	285	-	320	+35	-
国内生産	525	-	540	+15	-
生産台数* 合計	810	990	860	+50	-130

* トヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

続いて、2022年3月期 通期計画についてご説明いたします。

連結販売台数および生産台数についてです。

第1四半期および第2四半期の生産台数減の影響が大きく、
現在も供給制約は解消していないことから、
生産台数については前年超えは維持するものの、
8月3日に発表した前回計画に対し13万台減となる86万台に見直します。

それに伴い、連結販売台数については、
前年に対し3万台減、前回計画に対し13万台減となる83万台に見直します。

重点市場である米国を中心に在庫は非常に低い水準となっておりますが、
リテーラーの皆様にもご協力いただき、
パイプライン上の在庫販売やリテーラー間の在庫調整等により、
一台でも多くの受注ならびに販売につながるよう取り組んでおります。
同時にお客様に対しても、1日でも早くSUBARU車をお届けするよう最大限の努力を続けてまいります。

通期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 通期計画	増減
登録車	82	78	-4
軽自動車	20	19	-1
国内合計	102	97	-5
米国	612	570	-42
カナダ	50	55	+5
中国	24	16	-8
その他	73	92	+19
海外合計	758	733	-25
合計	860	830	-30

市場別の連結販売計画については、ご覧の通りです。

通期計画 連結業績

(億円)

	2021年3月期 通期実績(a)	2022年3月期 前回計画(b)	2022年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
売上収益	28,302	33,000	29,000	+698	-4,000
営業利益	1,025	2,000	1,500	+475	-500
税引前利益	1,140	2,030	1,550	+410	-480
親会社の所有者に帰属する 当期利益	765	1,400	1,100	+335	-300
為替レート US\$	¥106	¥109	¥110	+¥4	+¥1
EURO	¥123	¥130	¥130	+¥7	+¥0
CAN\$	¥80	¥88	¥88	+¥8	-¥0

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

17

続いて、連結業績です。

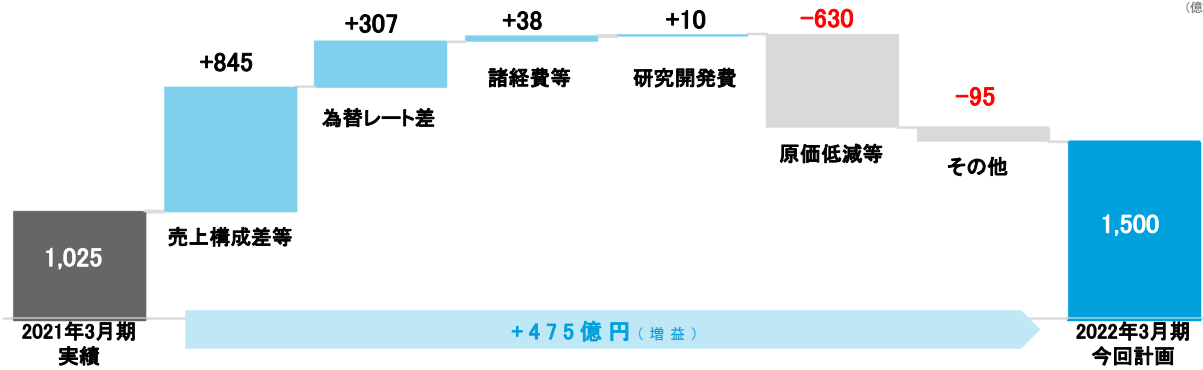
前回計画に対し生産台数および連結販売台数を下方修正することを主因とし、業績についても、前回計画に対して下方修正いたしました。

売上収益は、前回計画に対し4,000億円減となる2兆9千億円、
営業利益は500億円減となる1,500億円、
税引前利益1,550億円、親会社の所有者に帰属する当期利益1,100億円を目指します。

前年実績対比

通期計画 営業利益増減要因

(億円)



売上構成差	+845	為替影響	+307	諸経費	+38	原価低減等	-630					
新車国内	+35 US \$	+383	製造固定費	-191	販管費	-194	保証修理費	+423	SUBARU	-430	SIA *1	-200
新車海外	+395 EURO	+6	SUBARU	-168	SIA *1	-23	SUBARU	-208	原価低減	+77	原価低減	+27
販売奨励金	+285 CAN \$	+73	外製型費	-99	外製型費	+22	国内ディーラー	-11	原材料・市況等	-507	原材料・市況等	-227
その他	+130 中国元	+2	固定加工費	-69	固定加工費	-45	SOA *2	-7				
	仕入為替調整	-21				SCI *3	-21					
	未実現利益分	-136				その他	+53					

*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. *2 SOA: Subaru of America Inc. *3 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

主な増益要因は、

販売奨励金抑制に加え、販売価格の値上げ、車種・グレード構成の改善も見込み、連結販売台数は対前年で減少するものの、売上構成差等で+845億円を見通しております。また、為替レート差はUSドルで約4円の円安を前提とし、+307億円となる見通しです。

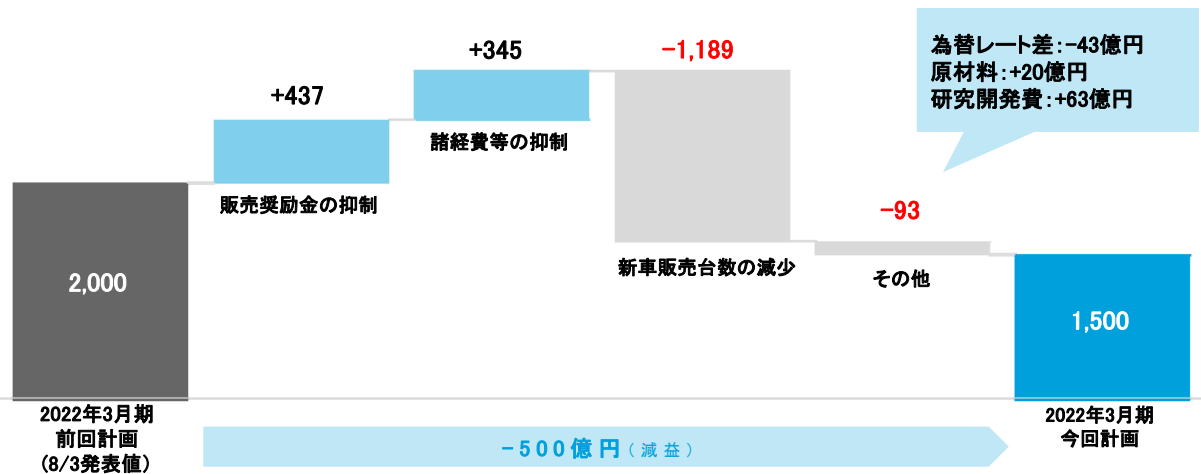
主な減益要因は、原材料価格の高騰・市況等の悪化により-630億円を見込み、前年実績に対し、475億円増益の1,500億円を見通しております。

尚、米国市場向け販売奨励金については、

前年の台当たり1,300ドルに対し300ドル減となる1,000ドルとなり、奨励金総額としては267億円の削減となる見通しです。

前回計画(8/3発表値)対比
通期計画 営業利益増減要因

(億円)



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

次に、営業利益を前回計画から500億円下方修正する要因をお話します。

期初計画から掲げていた営業利益2,000億円を達成するべく、
全社をあげて徹底的な費用の見直しに取り組んでいます。
主に販売奨励金や広告宣伝費などの販売関連費用、
一過性が含まれるものの保証修理費、
これらの費用の抑制により、
販売奨励金で437億円、諸経費等で345億円、合計782億円の増益を見込んでおります。
尚、前提を売上収益の1%レベルとしているリコール・サービスキャンペーンにかかる市場措置
費用は、前回計画から変更しておりません。

しかし、主に半導体不足による生産制約が続いており、
当初想定よりも挽回生産の開始時期を後ろ倒しする必要があり、
新車販売台数の減少による1,189億円の減益を見込むことから、
通期計画を見直すことといたしました。

尚、前回発表時と同じ項目での比較は36ページをご参照ください。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2021年3月期 通期実績(a)	2022年3月期 前回計画(b)	2022年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資 *1	862	1,000	900	+38	-100
減価償却費 *1	950	1,000	1,000	+50	±0
研究開発支出 *2	1,016	1,200	1,200	+184	±0

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

次に、設備投資・減価償却費・研究開発支出についてです。

設備投資は発生時期の偏りなどにより、100億円減の900億円となる見通しです。

＞ 一株当たり配当金

	2021年3月期 実績	2022年3月期 前回予想	2022年3月期 今回予想*
第2四半期末	28	28	28
期末	28	28	28
年間合計	56	56	56
配当性向	56.1%	30.7%	39.0%

* 配当性向：前期株式数を基に試算

最後に、株主還元についてです。

通期計画の連結業績を下方修正することといたしましたが、
改めて総合的に検討した結果、
配当予想については前回から変更いたしません。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。
以上で2022年3月期 第2四半期決算の説明を終わります。
ありがとうございました。

ご参考(1)

- ・ セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・ 海外売上収益
- ・ 連結財政状態計算書
- ・ 単独販売台数
- ・ 米国子会社業績
- ・ 第2四半期(3ヵ月)連結業績実績
- ・ 下期 連結業績計画
- ・ 2021年3月期及び2022年3月期実績
(四半期別)
- ・ 通期計画 営業利益増減要因
(8/3発表値対比)
- ・ 生産台数 / 小売台数 推移

第2四半期累計実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
自動車	11,688	13,061	+1,373	316	520	+204
航空宇宙	472	332	-140	-30	-7	+23
その他	24	24	-1	20	31	+11
消去・全社				1	1	-0
合計	12,184	13,417	+1,233	306	545	+238

第2四半期累計実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
日本	2,788	3,151	+363	-192	-42	+150
北米	8,791	9,672	+881	323	542	+218
その他	605	594	-11	19	19	+0
消去・全社				155	25	-130
合計	12,184	13,417	+1,233	306	545	+238

第2四半期累計実績 海外売上収益

(億円)

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
北米	9,088	9,911	+823
欧州	209	320	+110
アジア	470	420	-50
その他	314	586	+272
合計	10,082	11,237	+1,156

連結財政状態計算書

(億円)

	2021年3月末	2021年9月末	増減
資産合計	34,117	33,223	-894
流動資産	19,828	18,698	-1,131
非流動資産	14,289	14,525	+237
負債合計	16,253	14,946	-1,308
有利子負債	3,339	3,351	+12
資本合計	17,864	18,277	+414
利益剰余金	14,353	14,586	+233
親会社の所有する帰属持分	17,777	18,184	+407
親会社の所有者に帰属する持分比率	52.1%	54.7%	-
D/ELシオ	0.19	0.18	-

第2四半期累計実績 単独販売台数

(千台)

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
国内生産*	221	218	-3
国内売上	41	40	-1
登録車	31	32	+1
軽自動車	10	8	-2
輸出台数	189	188	-0
海外生産用部品	109	168	+59
単独合計売上	338	396	+58

*トヨタ向け86の台数を含む

第2四半期累計実績 米国子会社業績

(Million US\$)

SOA *1	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	7,726	8,103	+377
営業利益	424	547	+122
当期純利益	377	435	+58
小売販売台数(千台)	305	301	-4
SIA *2	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	3,349	3,256	-93
営業利益	-117	-126	-9
当期純利益	-92	-98	-7
生産台数(千台)	133	124	-9

*1 SOA: Subaru of America Inc. *2 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

第2四半期(3ヵ月)実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2021年3月期 2Q実績	2022年3月期 2Q実績	増減
登録車	19	16	-2
軽自動車	5	4	-1
国内合計	24	20	-4
米国	170	136	-33
カナダ	17	17	+0
ロシア	1	1	-0
欧州	2	4	+2
豪州	6	10	+4
中国	7	4	-3
その他	3	7	+4
海外合計	206	180	-27
合計	230	200	-30

第2四半期(3ヵ月)実績 連結業績

(億円)

	2021年3月期 2Q 実績	2022年3月期 2Q 実績	増減
売上収益	7,614	7,065	-549
国内	1,156	1,049	-107
海外	6,458	6,016	-442
営業利益	463	249	-214
税引前利益	468	269	-199
親会社の所有者に帰属する 当期利益	314	263	-51
為替レート US\$	¥107	¥110	+¥3
EURO	¥123	¥131	+¥8
CAN\$	¥80	¥89	+¥9

前年実績対比

第2四半期(3ヵ月)実績 営業利益増減要因

(億円)



為替影響	+82	諸経費	+9	原価低減等	-139	売上構成差	-83
US \$	+69	製造固定費 -37	販管費 -34	保証修理費 +80	SUBARU -92	SIA *1 -47	新車国内 -27
EURO	+5	SUBARU -36	SIA *1 -1	SUBARU -38	原価低減 +25	原価低減 +9	新車海外 -586
CAN \$	+16	外製型費 -27	外製型費 +10	国内ディーラー -	原材料・市況等 -117	原材料・市況等 -56	販売奨励金 +108
中国元	+1	固定加工費 -9	固定加工費 -11	SOA *2 -31			その他 +422
仕入為替調整	+3		SCI *3 -1				
未実現利益分	-12		その他 +36				

*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. *2 SOA: Subaru of America Inc. *3 SCI: Subaru Canada Inc.

下期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2021年3月期 下期実績	2022年3月期 下期計画	増減
登録車	49	43	-6
軽自動車	10	10	-0
国内合計	59	52	-7
米国	351	317	-34
カナダ	26	25	-1
中国	11	8	-4
その他	49	52	+3
海外合計	438	402	-35
合計	497	455	-42

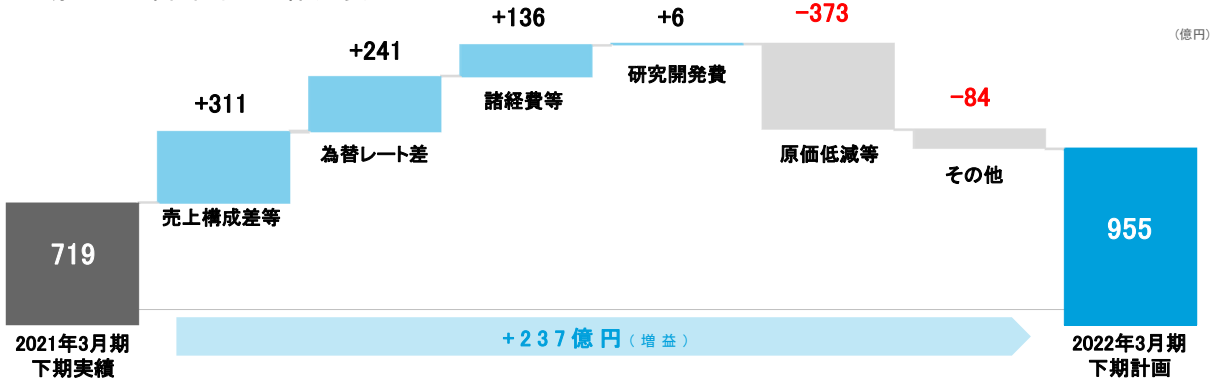
下期計画 連結業績

(億円)

	2021年3月期 下期実績	2022年3月期 下期計画	増減
売上収益	16,118	15,583	-535
国内	2,881	2,975	+94
海外	13,237	12,608	-629
営業利益	719	955	+237
税引前利益	779	938	+160
親会社の所有者に帰属する 当期利益	536	652	+116
為替レート US\$	¥105	¥110	+¥5
EURO	¥125	¥130	+¥5
CAN\$	¥81	¥88	+¥7

前年実績対比

下期計画 営業利益増減要因



売上構成差	+311	為替影響	+241	諸経費	+136	原価低減等	-373					
新車国内	+17 US \$	+279	製造固定費	-108	販管費	-39	保証修理費	+283	SUBARU	-253	SIA *1	-120
新車海外	+263 EURO	-3	SUBARU	-78	SIA *1	-30	SUBARU	-124	原価低減	+47	原価低減	+15
販売奨励金	+168 CAN \$	+29	外製型費	-68	外製型費	+1	国内ディーラー	-	原材料・市況等	-300	原材料・市況等	-135
その他	-137 中国元	-	固定加工費	-10	固定加工費	-31	SOA *2	+51				
	仕入為替調整	-35				SCI *3	-10					
	未実現利益分	-29				その他	+44					

*1 SIA: Subaru of Indiana Automotive, Inc. *2 SOA: Subaru of America Inc. *3 SCI: Subaru Canada Inc.

2021年3月期及び2022年3月期実績(四半期別)

(億円)

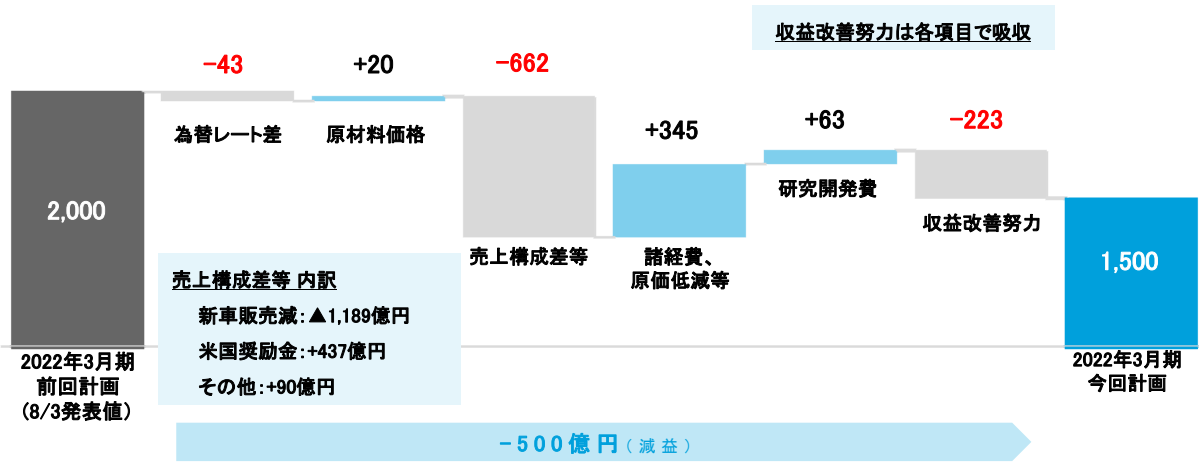
	2021年3月期				2022年3月期	
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	1Q実績	2Q実績
連結販売台数(千台)	133	230	268	229	175	200
生産*台数(千台)	92	262	260	196	184	158
売上収益	4,570	7,614	8,564	7,554	6,352	7,065
営業利益	-157	463	676	42	295	249
親会社の所有者に帰属する 当期利益	-77	314	505	23	185	263
為替レート US\$	¥107	¥107	¥105	¥104	¥109	¥110

*トヨタ向け86の台数を含む

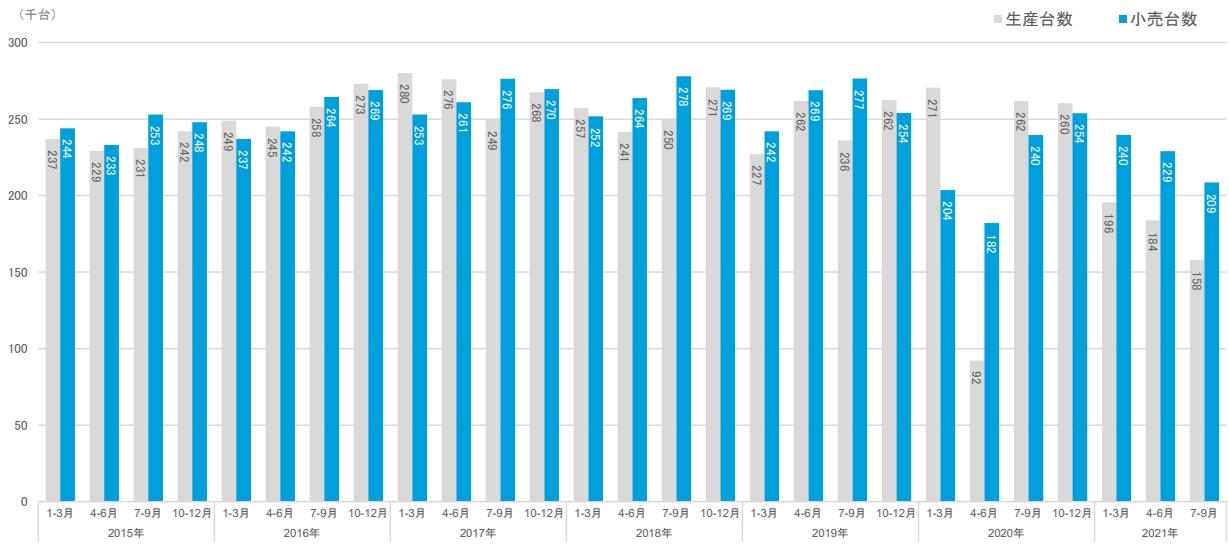
<https://www.subaru.co.jp/ir/>

通期計画 営業利益増減要因

(億円)



生産台数/小売台数 推移



* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。本資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。